

# hinge notes (ヒンジノート)

コンセプト “折背貼り”、“蛇腹折り”、“フラッグブック”を応用したノート。

ページ数（紙厚）の影響を受けずに、どのページもフラットに開けられるノート。

- 長所
- ・中綴じ、平綴じ、リング綴じに使われる針金が必要ない。
  - ・あじろ綴じの場合、紙厚になると”のど”まで開く事が困難だが、それが無い。
  - ・糸綴じと異なり、ページ間にメモや資料などを挟む事で膨れても、他のページへの影響が少ない。

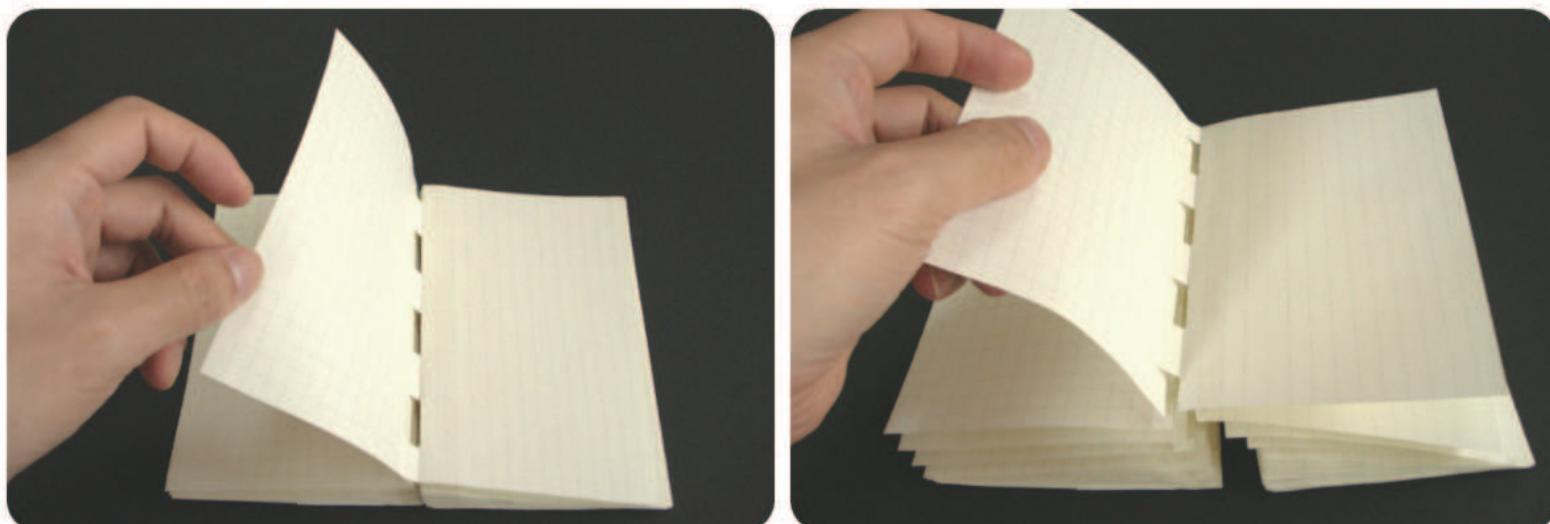


- 短所
- ・ページの連結部分に”のりしろ”が必要で、綴じ代が生まれる。
  - ・連結部分ごとページを破くと、そのページを境に分かれてしまう。対策：切り取り線（ミシン目）を入れる。
  - ・蝶番状に貼り合わせているので、背の部分の厚みが小口部分の1.5倍に膨らんでしまう。

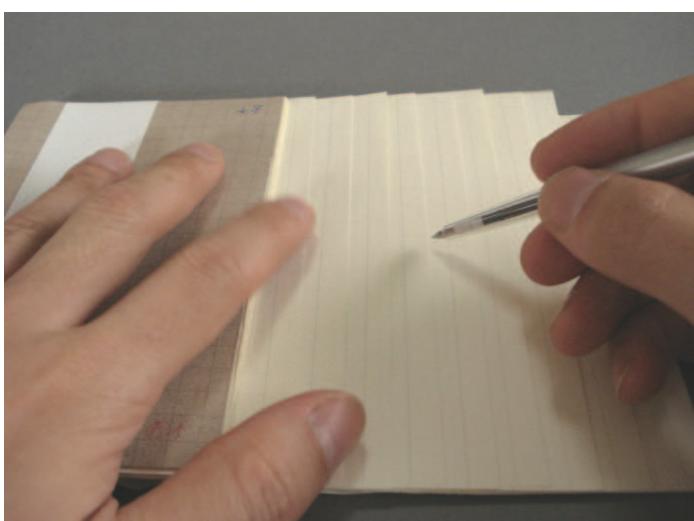


- 用途
- ・手帳 <物を挟んで厚くなても、ページが開きやすい>
  - ・学習用ノート <フラットに開けられるのでコピーが容易>
  - ・その他：厚みを抑える必要がある本（辞書など）には向きだが、開きやすい教材本として活用。

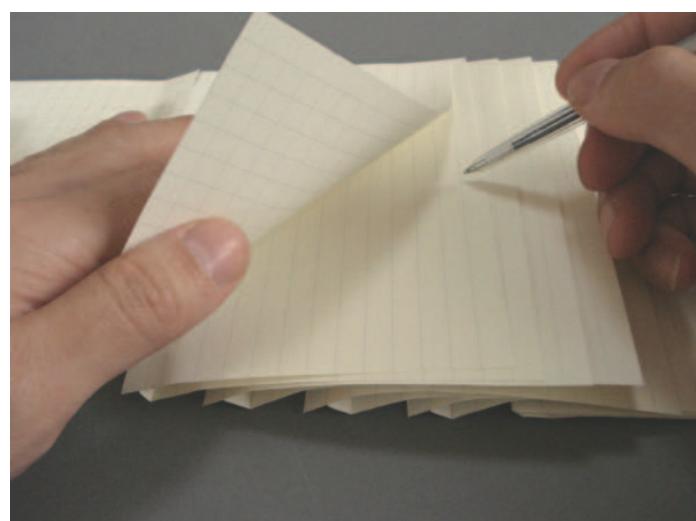
・ページを蝶番状に貼り付け、のり代の一部を貼り付けずに残すことで、2つの効果が得られます。



・ずらして開くことで、余白をタブとして利用できます。



・記入内容を確認しながら書き込む事ができます。



・ページをめくる際、押しながら外方向に引くと次のページが浮き上がり、めくり易くなります。



1

2